

〈その他の質問〉生活保護 臨時休校／外環道工事現場の感染症対策についてなど
スピード感と先見性を持ち 施策を展開せよ



令和山桜会
 土屋けんいち 幹事長



議員 PCRセンターにて検査を行う医師等への感染リスクが少ない唾液によるPCR検査が、厚生労働省により認められた。本市での導入について伺う。

市長 簡易かつ正確であれば問題ないと考える。鼻からを前提としているが、唾液による検査も都や医師会等と協議していく。

議員 新型コロナウイルス感染症の影響により収入が急減している市民や事業者に対する、市税の徴収猶予等による効果の見込みについて伺う。

市民部長 安心して市民生活を継続するために非常に効果があると考える。これから多数の相談を受けるところであり、事情を丁寧に聞き確実に対応していく。

議員 本年度の財政調整基金のとりこずし予定額は5億2千万円余あるが、市税の徴収猶予等による、上半期の資金繰りへの影響について伺う。

副市長 現段階では大きな影響はない。今後も市政の状況等を注視しながら的確な管理に努めていく。

議員 新型コロナウイルス感染症により多くの人が経済的に困窮する一方、影響の少ない市民や事業者もいる。納期限が比較的長い住民税・固定資産税等の後期分について早期納税の依頼

される。物件オーナーへの支援について所見を伺う。
生活環境部調整担当部長 現在のところは物件オーナーへの支援についてはの考えはないが、指摘を踏まえ、今後の感染症の動向、経済情勢等を注視していく。
議員 三鷹弁当マップの全戸配布等の飲食店支援は、アフターコロナにおいても生かせるようにすべきだ。対象を飲食店以外にも拡充し、食事や買い物に使えるチケット等を地域通貨の形で販売することが効果的と考ええる。所見を伺う。
市長 地域通貨は地域経済の活性化に向け有効と考えられる。また、オンライン環境での利用が普及すれば、新しい生活様式にマッチした仕組みになる。早期の導入に向け検討を進めていく。
議員 緊急事態宣言が早期に解除された場合も6月末まで保育料の軽減措置は継続すると通知されており、保育園への登園自粛は続くのかという疑問の声がある。登園自粛期間と保護者への周知について伺う。
子ども政策部長 感染リスク軽減のため、宣言解除後も、可能な家庭には引き続き家庭保育を依頼することとした。保護者には、登園の自粛要請から家庭保育の



全戸配布された「三鷹弁当マップ」(パンフレット版)

協力依頼に趣旨を変更して通知し、周知を図った。
議員 学校における感染リスクの高い教育活動等への対応については、各校長が判断するのか、教育委員会が指示するのか伺う。
教育長 本市のガイドラインを教育委員会において作成した。これに基づき、各学校では校長の判断のもと、教育活動を進めている。
議員 学校での新しい生活様式の実践に当たり教育委員会の役割ならびに市長部局との連携について伺う。
教育長 安全に配慮しながら学校の教育活動が円滑に進められるよう主体的に対応するとともに、市長部局と連携を図り学校への必要な支援を行っている。
議員 学校における保健管理体制の構築に向けた学校医等との連携を伺う。
教育長 学校医から専門的な知見を得ながら学校内の感染症対策を行っていく。
議員 文科省は、子どもや教員等の負担が大きいため最終学年を除き学習内容の上級学年への繰り越しを認める方針だ。所見を伺う。
教育長 授業時間を確保し可能な限り年度内に終わらせるよう指導していく。最終学年も、様々な工夫をしながら、年度内に終わらせるように検討していく。
議員 小・中学校における今年度の学校行事、自然教室や修学旅行等の実施の検討状況について伺う。
教育長 感染リスクを抑える工夫により実施可能かを判断基準として、内容を変更しての実施や、延期または中止の判断をしている。

修学旅行等については6月中を目途に、どのような方法であれば実施可能か、学校とともに検討している。
議員 外出自粛により在宅生活を余儀なくされている高齢者の見守り活動について伺う。
市長 市内の各地域包括支援センターにて、要支援者を中心に電話による状況確認等を行い、在宅生活での不安に寄り添っている。
議員 長引く外出自粛による健康の悪化が懸念される。在宅高齢者のフレイル予防支援について伺う。
市長 広報にフレイル予防の運動や食事バランス等の情報を掲載し、自宅で健康を維持するための情報提供を行った。
議員 新型コロナウイルス感染症収束後の、高齢者への引きこもり対策を伺う。
市長 各種事業の再開に向けての課題等を十分勘案し、なるべく早急に外出機会を創出するよう努める。
議員 本市が年内に実施を予定したイベントは原則自粛すると、5月の緊急対応方針にて発表された。年内全て自粛とは、早すぎる決断だったのではないかと。
市長 早い時期から準備が必要なものが多いことを考慮し、判断した。
議員 台風シーズンに備えて、昨年の風水害を検証した訓練が必要と考える。総合水防訓練を延期ではなく中止にした理由を伺う。
総務部長 例年300人を超える参加者があり、水防工法の訓練では密集・密接した作業となるため中止した。
議員 感染症蔓延時の震災を想定した備蓄品や避難所の在り方等を早急に検討し、新しい生活様式を心掛けた総合防災訓練を実施すべきと考える。所見を伺う。
総務部長 新型コロナウイルス感染症に対応した避難所開設・運営のガイドラインの作成及びガイドラインに沿った訓練実施の計画を進めている。
議員 三鷹駅前市政窓口では感染予防のため、開館時間の短縮等を行った。開館時間が短くなることで利用者が集中し、密集してしまふことはなかったか。
副市長 自動交付機等の利用依頼や届出期間を延長するなど、対応を行った。来所者数は昨年度より減少しており、密集は避けられたと判断している。
議員 小児用肺炎球菌ワクチンや麻疹、風疹の接種率が低下していると報道されている。本市の現状と今後の対策について伺う。
市長 受診時の感染リスクを恐れ、接種を控える市民も多い。できる限り接種するようPRを行っていく。
議員 今年は感染症対策等により、例年以上に熱中症が心配される。新しい生活様式における熱中症対策について、所見を伺う。
健康福祉部長 国から示されている予防行動のポイントを本市のホームページで紹介するなど、市民への普及啓発に努めていく。
議員 特別定額給付金が不要な人に、辞退せず寄付をするよう呼びかけている自治体がある。本市でも寄付の呼びかけを行うことについて、所見を伺う。



特別定額給付金支給事務の様子

等への配付を充実させるため、多くの公共施設にマスクポストを設置するべきと考える。所見を伺う。
市長 市として設置する考えはないが、市内のNPO法人のプロジェクトに協力し、市役所や市政窓口等に6月15日までマスク回収ボックスを設置している。
〈その他の質問〉 市内の新型コロナウイルス感染者数の公表について
議員 一般会計補正予算に係る特別定額給付金事業等については早急な対応が必要だ。実施状況を伺う。
総務部長 当該給付金等については人員配置やシステム開発等も適切に行い、確実な事務の執行を進める。
議員 子育て世帯の現状と子どものための給付金の給付額の根拠について伺う。
市長 学校の休校や保育園の登園自粛など、家計への影響を考慮し、応援メッセージとして給付金を給付することとした。金額については適切な額と判断する。
議員 小規模事業者経営支援給付金について市内小規模事業者の実情と政策決定の根拠ならびに国の持続化給付金との関係性を伺う。
市長 多くの市内事業者が苦しい状況にあると認識する。給付金は市内事業者の経営の継続、まちの魅力の維持が今後のまちづくりにとって重要であるとの判断から実

新型コロナウイルスから市民を守る 市政運営に努めよ



自由民主クラブ
 宍戸 治重 幹事長



議員 市内医療機関における新型コロナウイルスへの対応と医療需要の充足度を伺う。
市長 杏林大病院での広域的区域にわたる感染拡大防止や市内一般診療所での発熱外来による対応、かかりつけ医への電話相談等のPRを積極的に行うなど、市民の医療需要の充足に努めている。
議員 新型コロナウイルス感染症緊急対応方針に係る策定の考え方と政策決定のプロセスについて伺う。
市長 市民の暮らしに密着したきめ細かい対応を図り、国・都の動向を見定め、独自の施策を積極的に展開していきたい。
議員 一般会計補正予算に係る特別定額給付金事業等については早急な対応が必要だ。実施状況を伺う。
総務部長 当該給付金等については人員配置やシステム開発等も適切に行い、確実な事務の執行を進める。
議員 子育て世帯の現状と子どものための給付金の給付額の根拠について伺う。
市長 学校の休校や保育園の登園自粛など、家計への影響を考慮し、応援メッセージとして給付金を給付することとした。金額については適切な額と判断する。
議員 小規模事業者経営支援給付金について市内小規模事業者の実情と政策決定の根拠ならびに国の持続化給付金との関係性を伺う。
市長 多くの市内事業者が苦しい状況にあると認識する。給付金は市内事業者の経営の継続、まちの魅力の維持が今後のまちづくりにとって重要であるとの判断から実